

妙専寺第十七世住職継職奉告法要

光城山寺報

発行所
妙専寺

29号



10月22日、「妙専寺第十七世住職継職奉告法要」が厳修されました。皆様の懇志により、境内地の整備、内陣の修繕を完成することができ、美しく輝くご本堂での法要となりました。当日は雨天となりましたが、スタッフの方のご尽力により、全日程を無事終えることができました。

今後、門信徒の皆様とともに、妙専寺を護り、益々仏法弘通に勤めて参りますので、よろしく願います。

まずは書中をもちまして御礼申し上げます。



稚児宿では、僧侶30人程が集まり、雅楽の音、お経が響き渡り、厳かに稚児宿勤行が勤まりました。

稚児宿勤行



阿弥陀様の前で記念撮影

稚児記念撮影会



稚児宿（土居幸登さん宅）にて記念写真



雨天のため特別に行われる事となった紙芝居と絵本の時間。子供達に大好評でした。

紙芝居タイム



とてもかわいらしい80名のお稚児さんのお参りがあり、本堂が賑わいました



稚児行列

特別に内陣に上がり阿弥陀様、親鸞聖人、蓮如上人へ焼香しました



住職継職法要

仏教婦人会の方が伝供と献香をして下さいました



まずは前住職のお勤め



前住職、新住職
二人並んで入堂



素敵な音色が響き
渡りました



二千枚の華葩（けは・紙の華）が本堂に撒かれ、厳かに法要が行われました



ここからは新住職
のお勤め



ろうそくが受け渡され、
妙専寺の法灯が継承されました

記念式典



前住職挨拶



総代長挨拶



妙専寺第十七世住職継職
法要記念式典の始まり



本願寺伝道院講師
福間義朝先生

記念法話



継職事業施工者感謝状授与



新住職挨拶



雨の中での受付



仏婦の皆さんに美味しい
お昼ご飯を作って頂きました

沢山の方のお世話に
なりました



沢山の方にお聴聞して頂きました
ようこそお参り下さいました



祝賀会



的場さんの司会



台風の中、大崎
からもお参り



竹本先生の仙華

住職法話

10月22日、皆様のおかげで住職継職法要を無事勤めることができました。有り難うございました。

全ての日程を終え、ほととしいたその日の夜、突然の知らせが届きました。

私と妻が大学時代にお世話になった恩師が往生されたとのことでした。突然のこと、交通事故で車にはねられて亡くなったということでした。

実はこの9月に先生から、京都に来て会わないかとお誘いを受けていたところでした。しかし、そのときは継職法要の準備もあり、忙しいからとお断りをしていました。もし、それが最後になると分かっていたら、いくら忙しくても会いに行っていたのですが、諸行無常の世を生かされている私達は、誰も先のことは分かりません。その中で、今、会うべき方に会い、なすべき事をなさねばなりません。

せん。

誰に会い、何をなすべきかは、悩むところですが、親鸞聖人の先生である法然上人は、これをしなさい、これをしてはいけませんとおっしゃられず、ただお念仏の出るような生活をおくりなさいとおっしゃられました。

思わず手を合わせたくなるような素晴らしい方に出会い、お念仏申すのも尊いことですし、思うようにならない方と出会い、腹が立ち、私の煩惱の姿に気づかされてお念仏申すのも尊い生き方です。

このいのち、むなしく終わらせないためには、阿彌陀様の慈悲に遇い、お念仏を申して生きていくのが最も大切なことです。お念仏申す時、過去も、未来も意味を持ちかがやき、そして尊い今がはじまるのです。

私達は意味なく生きていくのではありません。大きな願いの中を生かされているのです。お念仏申すとき、

願いの中に生かされている私に気づきます。これまでの多くのご先祖の方々の願いの上に生かされている私の私。阿彌陀様の五劫思惟という長い間考え抜かれた願い、兆載永劫というはかりしれない間のご修行の徳を届けていただいている私の私。その大きな願いの中を今私は生かされているのです。

そして、これからの人生も決してむなしく終わってはいきません。阿彌陀様のお慈悲に導かれていく人生は、ときに苦しく悲しいことがあろうとも、この私も自利利他円満の仏様と成らせていただき、後の者を導いていく、尊いいのちとしての人生を、歩み切らせていただけるのです。

いつ何があるか分からない人生ですが、阿彌陀様のお慈悲に遇い、お念仏を申し、願いをいただいたこの人生を歩み切らせていただくと思います。

秋初穂のお願い

平素は寺院護持に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度もご無理をお願いでありますが、お初穂を十二月五日にご仏前にお供えを戴きまして、仏祖の御冥助に感謝申し上げます。ご多忙中とは存じますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

土曜学校

お友達と誘い合って、お経やゲームをしながら仏様の教えを学びましょう。毎月第二土曜日朝九時より十時まで。

法座案内

御正忌

一月十五日(月)
十六日(火)

御講師 吉村隆真殿

光寿会法座

三月 未定

御講師 法林英俊殿

永代経

四月 未定

御講師 未定

